

地域力を活用した通学路の安全を確保する取組 (柳井市立柳北小学校)

〈ねらい〉

学校・家庭・地域が連携して、学校安全3領域の観点から総合的に通学路の安全点検や安全マップづくり等を行う活動を行うことにより、地域ぐるみでの学校安全活動の充実を図るとともに、子どもたちが「自他の命を守る」という高い安全意識を育むことを目的として実施する。



取 組 内 容

1 実施期間：平成30年9月4日～平成31年3月4日

2 実施校：柳井市立柳北小学校（校長：中本 隆徳）

3 取組内容

取組の方向性について

《実践委員会の開催》

9月4日柳北小学校で、実践委員会を開催しました。安全・安心の学校生活に向けた取組の方向性等について、話し合いが行われました。

地域での課題や子どもたちの交通マナーなどの気付きをいただきながら、3,4年生が行うデジタルカメラを使用した危険箇所点検や作成したマップの活用方法等について話し合いました。

具体的な取組

(1) 教職員の交通安全研修

県主催の出前講座「学校安全セーフティライフセミナー」を活用し、交通事故の現状とその特徴、KYT（危険予測トレーニング）教材の活用や歩行者と車の目線、大人と子どもの目線が異なることなどについて教職員間の共通認識を図りました。

特に、児童に対して「自分の身は自分で守る！」という危険予測・回避能力の育成が重要であるとの助言をいただきました。



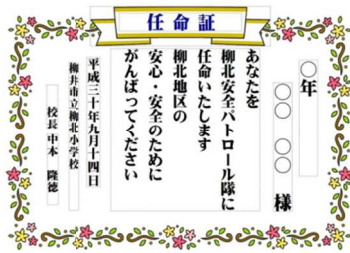
[同じ目線でも様々な視点が必要]

(2) 柳北安全パトロール隊

3年生を柳北安全パトロール隊に任命し、次の取組を行いました。

ア 通学路危険箇所点検

学校安全アドバイザー、スクールガードの方、警察官の方達に加わっていただき、班に分かれて、通学路の危険箇所点検を行いました。子どもたち自身で何が危険か考えながら写真撮影することにより、その後の「危険箇所点検」「KYT資料の作成」に意欲的に取り組みました。



〔パトロール隊任命証〕



〔危険箇所等の撮影〕

イ K Y T 資料の作成

改めて何が危険でどのようにその危険から回避するかを話し合いながら、自分たちで撮影した危険箇所の写真で柳北小独自のK Y T資料などを作成しました。



〔K Y T 資料の作成〕



〔K Y T 資料の作成〕



〔K Y T 資料の発表〕

ウ 「仁の庭集会」での発表

全校集会で作成した柳北小独自のK Y T資料を使って、全校児童を対象に「K Y T学習」の発表を行いました。発表することで、子どもたちの安全意識・能力が高まりました。

また、学校でK Y T資料や地域安全マップを掲示して、全校児童・保護者・地域へ啓発を行いました。



〔集会の様子〕



〔K Y T 資料〕

(3) 成果と今後に向けて

《成果》

- 全校児童が「自分の身は自分で守る」という安全意識・能力が高まるとともに、学習内容を発表することにより地域への情報発信力が向上した。
- 児童が情報発信することにより、家庭や地域の安全意識が向上し、保護者・地域・関係機関が連携した学校安全の取組を強化することができた。

《今後に向けて》

- 継続的なカリキュラムとして定着させ、より安心・安全な取組として発展させていきたい。
- 保護者・地域を巻き込んだK Y T学習を実施するとともに、関係機関とも連携することで子どもたちの安全を確保していきたい。